

常念岳から蝶ヶ岳 ～三股より周回～

2017 年 9 月 11 日（月） 曇り一時霧雨 メンバー：松野

まだ行ったことがなかった常念岳。夏に槍穂の稜線から見た山容がとても印象的だったので、体力づくりを兼ねて行ってきました。 ▽ 槍の肩から見た常念岳と蝶ヶ岳



平日でしたが三股手前の駐車場には十数台の車がありました。三股からまずは常念岳を目指して樹林の中のつづら折りの登山道を登って行きました。



尾根に乗り樹林が切れてくると前常念岳が見え、徐々に岩が積み重なった登山道に変わってきました。





左手には、これから歩く蝶ヶ岳への稜線。その向こうには槍穂の稜線があるはずなのですが、雲に覆われて見えません・・・。



前常念岳直下には赤い屋根の避難小屋が、山肌にへばり付くように建っていました。小屋の内部はむき出しの岩がそのまま壁に。



常念岳直下でガスに覆われてしまい、山頂ではまったく視界なし。登頂の余韻もそこそこに蝶ヶ岳へ向かいました。



蝶ヶ岳の方からもたくさんの登山者がやってきます。



常念岳から離れるにつれ、岩場がなくなり樹林や草地の広がる穏やかな稜線に。



振り返ると常念岳。



今回、槍穂はまったく見えず、唯一、横尾の屏風の岩壁が見えていました。景色は諦め、目の前のものをひたすら写真に撮ることに。





2592 ピークを下ったところに小さな池塘がありました。



蝶槍の登りに差し掛かると樹林が切れ、風が強くなってきました。そしてまたガスの中へ・・・。

蝶槍を越えると、広い丘のような地形になり、草紅葉がきれいでした。



山頂はどこだろうと歩いていると二重山稜になり、地形図では『蝶ヶ岳』の文字が、登山道から離れた小高い場所に書かれていたので、あそこが蝶ヶ岳の山頂？と思うものの、道がついている様子はなく、とりあえずそのまま登山道を進んで行きました。



しばらく進むと、山並みのレリーフが刻まれた方向指示盤があったので、ああ、ここが山頂なんだと思い込んでしまいました。ですが家に帰ってから山と高原地図を見ると、ここは山頂ではなく『瞑想の丘』というところでした！

山と高原地図は山行中も持っていたのですが、なぜかここでは見なかった・・・。



そこからすぐに蝶ヶ岳ヒュッテに到着しましたが、ここでも山と高原地図は見ておらず、ガスに覆われたその背後に『蝶ヶ岳最高点』があるとはまったく分かりませんでした。そそくさと三股方向へ下山し始めてしまい、蝶ヶ岳のピークは踏まずじまいです・・・。ちゃんと等高線を読んでいたればよかったのですが。

この下山路はかなり整備されていて（されすぎ？）、急斜面には新しい木製の階段がずっと付けられていました。最後は沢沿いの緩やかな道になり、三股へ戻りました。



〈コースタイム〉

5：45 三股手前駐車場 － 6：00 三股 － 9：10 前常念岳 － 9：55 常念岳 － 12：20 蝶ヶ槍 － 13：05 蝶ヶ岳ヒュッテ － 15：40 三股 － 15：55 駐車場

以上